

2017年8月1日

報道関係各位

慶應義塾大学 SFC 研究所

慶應義塾大学SFC研究所ファブ地球社会コンソーシアム主催 ファブ3Dコンテスト2017開催

2016年に引き続き、慶應義塾大学SFC研究所ファブ地球社会コンソーシアム（代表：環境情報学部教授田中浩也）は、新しい広がりを持った3Dプリンタの利活用法と、それを担う人材を発掘するためのコンテストを開催します。今年は、2つの部門（プロジェクトの部、作品の部）のなかに計5つのカテゴリーを設け、どんな年齢の人でも参加できるように、そして、価値観を一元化せず、多様な可能性を尊重しながら募集を行います。技術と社会をつなぎ、未来を明るく、楽しく、優しくする作品の応募をお待ちしています。

1. ファブ3Dコンテスト2017概要

応募期間： 2017年8月1日（火）～10月10日（火）

募集内容：

(1) 夏休みの自由研究

テーマ：観察と制作 対象：小学生

(2) 暮らしの自由研究

テーマ：暮らし生活 / 改善 対象：家族

(3) FAB 甲子園

テーマ：未来の楽器 対象：中高生

(4) エンターテイメント部門

テーマ：「笑」ファブ 対象：クリエイター

(5) デザインエンジニアリング部門

テーマ：3D プリントエッグドロップパッケージ 対象：ものづくりプロ / セミプロ

応募方法： 公式Webサイト（<http://www.fab3d.org>）よりご応募いただけます。

※応募条件、申し込み時期はカテゴリー毎に異なります。詳しくは公式Webサイトをご覧ください。

賞： 最優秀賞（1点）：賞金（10万円）+副賞

優秀賞（各カテゴリー1点ずつ）：賞金（5万円）+副賞

特別賞（各カテゴリー1点ずつ）：賞金（1万円）+副賞

2. 選考について

一次審査結果： 2017年11月12日（土）までに公式Webサイトに掲載予定。

二次審査および授賞式： 2017年11月に東京ミッドタウンで開催されるSFC Open Research Forum 2017において開催。一次審査通過作品の作者の方には、11月23日（木・祝）に、最終審査会場へお越しいただきます。

3. コンソーシアム代表 田中浩也（慶應義塾大学環境情報学部 教授）からのコメント

「3Dプリンタの各技術は、日進月歩で進化しています。誰でも3Dデータをつくれるソフトウェア、モノに新しい表現力をもたせる3Dプリンタ用新素材、新しいデータ形式など、数年前とは比べようもないほど状況は変わっています。わたしたちは、文部科学省COI（Center of Innovation）プログラムを通じて、3Dプリンタの技術開発を進めていますが、それと同時に、結局、この技術を活かすのは“人間”、そして人間の“創造性”なのだ、という当たり前の事実を大切にしたいと思っています。本コンテストは、通常のデザインコンテストとは一線を画し、小学生、家族、中高生、そしてクリエイターやエンジニアリングのプロといった、広がりと多様性を持った世代、職種の方からの応募を、ぜひともお待ちしております」

本件に関する報道関係からのお問合せ

慶應義塾大学SFC研究所ファブ地球社会コンソーシアム

ファブ3Dコンテスト事務局（担当：渡辺・大野）

TEL: 045-319-4763 E-mail: fab3d-contest@sfc.keio.ac.jp

配信元

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 学術研究支援担当

TEL: 0466-49-3436 E-mail: kri-pr@sfc.keio.ac.jp